

船舶事故等調査報告書

平成24年7月26日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2012仙第1号	
事故等種類	衝突（消波ブロック）	
発生日時	平成24年1月10日 17時33分ごろ	
発生場所	青森県八戸市八戸港白銀西防波堤 八戸港白銀西防波堤西灯台から真方位134° 130m付近 （概位 北緯40° 32.3′ 東経141° 32.0′）	
事故等調査の経過	平成24年1月16日、本事故の調査を担当する主管調査官（仙台事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報		
船種船名、総トン数	漁船 第八福重丸 ^{ふくじゅう} 、75トン	
船舶番号、船舶所有者等	123187、個人所有	
乗組員等に関する情報	船長、五級海技士（航海）	
死傷者等	なし	
損傷	船首部キール折損、剝離及び擦過傷	
事故等の経過	<p>本船は、船長ほか8人が乗り組み、八戸市八戸漁港小中野地区の岸壁に着岸するために八戸港内を同港西航路に向け、針路約171°（真方位）、対地速力約9.8ノットとして自動操舵で航行中、単独で船橋当直中の船長が居眠りに陥り、平成24年1月10日17時33分ごろ八戸港白銀西防波堤西側の消波ブロックに船首部が衝突した。</p> <p>船長は、連日の操業により、疲れを感じていた。</p> <p>本船は、引船により引き出されたのち、自力で八戸漁港の岸壁に着岸した。</p>	
気象・海象	<p>気象：天気 晴れ、風向 西北西、風速 10m/s、視界 良好</p> <p>海象：海上 平穏、潮汐 下げ潮の末期</p>	
その他の事項	船長は、椅子に腰を掛けた姿勢で船橋当直を行っていた。	
分析	<p>乗組員等の関与</p> <p>船体・機関等の関与</p> <p>気象・海象の関与</p> <p>判明した事項の解析</p>	<p>あり</p> <p>なし</p> <p>なし</p> <p>本船は、八戸港内を同港西航路に向けて航行中、単独で船橋当直中の船長が居眠りに陥ったことから、消波ブロックに向かって航行し、消波ブロックに衝突したものと考えられる。</p>
原因	本事故は、夜間、本船が、八戸港内を同港西航路に向けて航行中、単独で船橋当直中の船長が居眠りに陥ったため、消波ブロックに向かって航行し、消波ブロックに衝突したことにより発生したものと考えられる。	
参考	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・船橋当直中に眠気を催した場合には、椅子から立って身体を動かすなどして眠気を払拭すること。 ・港内では自動操舵とせずに手動操舵で航行すること。 ・港内航行中の船橋当直は、2人以上で行うことが望ましい。 	